

行岡保健衛生学園 自己点検自己評価表(2023 年度)

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第1学科

記入者：吉田 菊江

1. 学校の教育目標 学生便覧・授業計画 P2

1. 人間を成長・発達・変化している身体的・精神的・社会的・霊的(スピリチュアル)に統合した存在として幅広く理解する能力を養う。
2. 対象を中心とした看護を提供するために、看護師としての人間関係を形成するコミュニケーション能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、対象の立場に立った倫理に基づく看護を実践する基礎的能力を養う。
4. 科学的根拠に基づいた看護の実践に必要な臨床判断を行うための基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防及び回復に関わる看護を、健康の状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割及び他職種との役割を理解し、多職種と連携・協働しながら多様な場で生活する人々への看護を提供する基礎的能力を養う。
7. 専門職業人として地域の健康問題に目を向け、最新知識・技術を自ら学び続け、看護の質向上を図る基礎的能力を養う。

2. 学科の教育目標

授業計画各科目目標 P9～P16

実習要項の各看護学実習目標 P55・P67・P81・P90・P111・P117・P128・P141・151

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4 ③ 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 ③ 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

卒業生像の明文化

② 今後の改善方策

各教員の教育の方向性を一致させていく

③ 根拠資料

授業設計

④ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4 ③ 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 ③ 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 ② 1

① 課題

自校の状況に合わせ設定相談をしている。
事務作業が多い。(出席管理の一元化)

② 今後の改善方策

事務の ICT 化 (学生管理システム『infoClipper』の導入。教務事務が専念)

③ 根拠資料

教育課程 カリキュラム実施状況
学生便覧 (学校組織に関する規程)
YouTube、ブログ
就業規則
研修受講状況

④ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 ③ 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

教員により研修受講や自校・他校の授業参観など、格差がある。
実習評価表がつけにくい。

② 今後の改善方策

FDの年間計画、教員自身のテーマを決めた継続的な学習、
教員ラダーの導入によりキャリアの確認。
実習評価表の検討

③ 根拠資料

- ・教員の研修受講状況
- ・教育課程 実施状況
- ・授業評価

④ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 3 ② 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・母体病院へ就職者が少ない。
- ・退学者が多い。
- ・卒業生の社会的活動の把握が弱い。

② 今後の改善方策

- ・母体病院と協力し就職者を増やす。
- ・看護部の卒後研修の参画。
- ・卒後フォローアップ研修やホームカミングデイを継続する。
- ・実習施設の看護部からの情報交換でタイムリーな動向をつかみ、支援する。
- ・国家試験対策1年～3年までのラダーに基づき実施。1・2年生は時間割に国家試験対策を入れ込み、国家試験問題を通して学習の仕方を教える。

③ 根拠資料

- ・就職率
- ・研修受講状況、国家試験合格率
- ・退学率
- ・卒後のフォローアップ研修・ホームカミングデイ、スクールカウンセリングに関する事項、国家試験対策

④ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 ③ 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 根拠資料

・健康管理規定 ・就職指導年間計画表 ・学年別面接計画 ・カウンセリング実施状況

③ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 ② 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・Wi-Fi 環境がない。
- ・南海トラフなどの自然災害を見据えた防災訓練。

② 今後の改善方策

- ・Wi-Fi 環境の整備。PC が古い（作業に影響）
- ・実践的な防災訓練
- ・学生の学内における物資のローリングストックについて指導する。

③ 根拠資料

- ・学内外の実習施設の教育体制の整備：実習要項
- ・防火訓練実施、大阪 880 万人の訓練に参加
- ・在宅訪問看護ステーションや実習施設のインターシップへの参加状況

④ 特記事項

- ・学内外の実習施設について十分な教育体制の整備：実習施設は大阪府に申請し実地調査後承認を受けている。（指導要領で整備すべく、実習指導者の要件や図書の実備、更衣室、討議室、必要備品の整備など）
- ・就職活動と関連させて、在宅訪問看護ステーションや実習病院等のインターシップに参加している。

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④ 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・18歳人口の減少・年々応募者の減少。
- ・学生ボランティアの待遇の検討。

② 今後の改善方策

- ・学生目線にたったOCの実施を15日(22回)
- ・学生のボランティア協力。待遇の考慮。学校説明・見学、実習室体験、保護者説明など評価修正しながら進める。
- ・指定校推薦校を24校継続
- ・高校訪問継続(面倒見の良い所のPR、学校・生活紹介一覧・在校生レターの更新)40校
- ・ブログ継続(毎週水曜日にアップ)、Instagramの更新、YouTube更新(演習状況、行事)

③ 根拠資料

- ・指定校推薦導入で、確実に現役生を確保する。
指定校推薦応募。
- ・公募推薦
- ・自己推薦
- ・募集要項

④ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

特記事項

① 課題

② 今後の改善方策

③ 根拠資料

④ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 ③ 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 ③ 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 根拠資料

R4年度自己点検自己評価、関係者評価の実施、公表した。

特記事項

・毎年保助看法の14条報告の実施、保助看法に逸脱していないかの確認がある（カリキュラムの実施状況や教員の要件、入学者数・卒業者数、実習施設の確認など）。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 ② 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・地域貢献の継続。

② 今後の改善方策

- ・クリーン大作戦（行岡病院・学校内外、地域のゴミ拾い）年3回
- ・大阪市北区「種から育てる花づくり事業」に参画 年4回

③ 根拠資料

- ・上記の実施状況

④ 特記事項

- ・認知サポーター場所として認定された。授業で、養成講座を取り入れた。
- ・行岡病院の卒後教育の一環として、「人工呼吸器蘇生人形」、「AED」、採血練習用「血管くん」を貸し出し、活用していただいている。
- ・当校歯科の講義を実施している。
- ・出前授業。
- ・実習病院との年1回の講演会や指導者会（年数回）などを通して交流している。

2023年度 学校法人行岡保健衛生学園 行岡医学技術専門学校 関係者評価

実施日：2024年5月31日（金） 14:00～16:30

場 所：行岡医学技術専門学校

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：看護第1学科

評価者：

① ** **氏 医療機関〔実習病院〕 看護部長

② ** **氏 ** ** ** ** 専門学校 顧問

【講評】①

学生便覧や実習要項が細かく規定されているのでわかりやすいが、それゆえに運用が難しくなる所がある様に感じる。

学生が、評価をうける資格時間数を計算する時、1科目ごとに時間数がいろいろあるので、計算しにくいのではないかと思う。

【講評】②

18歳人口が減少する中、種々の入試体制を準備して、学生確保を行っていると感じる。

新カリキュラムの考え方にのっとり、新しい科目が構築されている。ただ、各科目ごとの時間数に幅があるので管理が大変だと感じた。

全体的に、法令にのっとり、きちんとした管理運営がされていると思いました。

2023年度 行岡保健衛生学園 自己評価表

学校名：行岡医学技術専門学校

学科名：歯科衛生科

記入者：鈴木 亜紀

1. 学校の教育目標

本校の教育理念の「協同」から発展して、「適応力豊かな医療人の育成」

2. 学科の教育目標

「適応力豊かな医療人」を目指すうえで学生には、科の教育目標は「成し遂げる力」を養うことである。

「成し遂げる力」を達成するためには

- ・ 歯科衛生士になるという強い意思をもつこと
- ・ 相手を思いやり、寄り添う気持ちをもつこと
- ・ 心身ともに健康であること

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の理念・目的・人材育成像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが 学生・保護者等に周知されているか	4 ③ 2 1
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業 界のニーズに向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

学校の理念、目的等は入学前のオリエンテーション（学生・保護者説明会）にて周知しているが、保護者への学校の理念・目標等の周知が不十分である。

② 今後の改善方策

複数回の保護者説明会（入試前・入試後・臨床実習前）で伝えていく。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(2) 学校運営

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 ③ 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④ 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④ 3 2 1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 ③ 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 ③ 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 ③ 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④ 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 ③ 2 1

① 課題

教員は毎日午前と午後の学生点呼、非常勤講師への講義資料印刷準備ならびに担当科目講義など業務は多岐におよんでいる。そのため業務の効率化が図られにくい。

情報システムについて十分に使いこなせていない。

② 今後の改善方策

雑務のシステム化を整備し、情報システムを積極的に活用していく。

③根拠資料

③ 特記事項

(3) 教育活動

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方法等が策定されているか	4 ③ 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえ、就業年限に対応した教育到達レベルが明確にされているか	4 ③ 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における実践的な職業教育（インターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4 ③ 2 1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 ③ 2 1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4 ③ 2 1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務を含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

- ・非常勤のレジュメ、出欠確認など、教務事務業務が多くあり、対応に追われる。
(実習先訪問など学校を離れるため)

② 今後の改善方策

- ・多量の資料はネットで学生と共有など柔軟な対応を行っていきたい。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(4) 学修成果

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 ③ 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び計画を把握しているか	4 ③ 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・成績不振の学生が今年度は特にみられた。
- ・国家試験合格率の低下

② 今後の改善方策

- ・国家試験対策を3年生ではなく2年から早期介入（対策アプリの活用）

③ 根拠

。

④ 特記事項

(5) 学生支援

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 ③ 2 1
・保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 ③ 2 1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4 ③ 2 1
・高校・高等専修学校との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・ 卒業生への卒後研修が実施できていない。
昨年度も同じく実施できていない。卒業生のニーズを把握するところから実施する必要があると考える。

② 今後の改善方策

- ・ 卒業生のメーリングリストを作成し勉強会などの情報を提供する
- ・ 卒業生への研修（時代のニーズに即した）を計画していきたい

③ 根拠資料

④ 特記事項

(6) 教育環境

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4 ③ 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 ③ 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 ③ 2 1

① 課題

経年劣化により使用制限のある教育教材がある。

② 今後の改善方策

新規の教育教材を購入する

④ 根拠資料

④ 特記事項

(7) 学生の受入れ状況

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 ③ 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 ③ 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・学生募集活動は適正に行われていると考える。しかし、コロナ渦で提供できる活動に制限があった。

② 今後の改善方策

- ・現行通りの体験型を充実させていく。
- ・在校生にも募集活動に参加させ、生の声を届ける。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(8) 財務

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 ③ 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 ③ 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 ③ 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 ② 1

① 課題

学生募集が定員に満たない

② 今後の改善方策

在校生の満足度を高め、オープンキャンパス等の充実を図る

③ 根拠資料

④ 特記事項

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	④ 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 ③ 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 3 ② 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 ② 1

① 課題

自己評価結果について把握できていない

② 今後の改善方策

自己評価を把握し次につなげる。

③ 根拠資料

④ 特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切・・・4、ほぼ適切・・・3、 やや適切・・・2、不適切・・・1
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 ③ 2 1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 ③ 2 1
・地域に対する公開講座・教育訓練の受託等を積極的に実施しているか	4 ③ 2 1

① 課題

- ・保育園、小学校への歯の衛生週間指導の充実

② 今後の改善方策

地域貢献を実施していれば連携を図り、支援できる体制を考えていく

③ 根拠資料

③ 特記事項

2023年（令和5年）度 学校法人 行岡保健衛生学園
行岡医学技術専門学校【歯科衛生科】 学校関係者評価

実施日 ①2024年5月26日（木曜日）10時00分～12時30分
②2024年5月27日（金曜日）10時00分～12時30分
場所 行岡医学技術専門学校 6階 演習室

学校名： 行岡医学技術専門学校

学科名： 歯科衛生科

評価者： ①***** 氏
***** 歯科医院 （臨床実習施設）

②***** 氏
***** （非常勤講師）

講評

2名の評価者ともに本科の教育ならびに取り組みに対して、適切であると評価して頂いた。その中でも評価基準が「やや適切」、「不適切」と評価された項目から課題と今後の対策についてまとめる。

【課題・今後の対策】

*教育活動

【課題】

アクティブラーニングを実施するにあたり、機材や教材に工夫が必要となった。教育の質向上のために環境調整が必要と考えられる。

【今後の対策】

コロナ渦の中教室の使用制限があり機材不足に陥ったのは否めない。将来的に増設していきたい。

*学修成果、学生支援

【課題】

受動的な課題が多く、学生自身で取り組む課題発見型学習を組み込む必要があると考える。

【今後の対策】

主要科目から、プログラム学習などを導入し、個々それぞれが課題解決していけるような教育支援を実施していく。

*教育環境

【課題】

自習や時間外の学びのスペースが不足している。学生の行き場がないように思う

【今後の対策】

空き教室などを利用して、授業時間外での自由に学べるスペースの確保を行う。

*社会貢献・地域貢献

【課題】

地域の歯科衛生の啓蒙活動をしていったらどうか

【今後の対策】

コロナ渦が収まったら、地域（高齢者など）の口腔衛生活動に出向き、歯ブラシ指導など実施したい。